

福島工業株式会社

証券コード:6420

# FINE!

株主・投資家の皆さまへ

第64期中間報告書

2014年4月1日~2014年9月30日

**Fukushima** 

フレッシュ・バリューをあなたとともに

# トップメッセージ



企業理念

環境・安全・安心をテーマに「幸せ創造企業」を目指します。

## 第1項 生活者の幸せ

わたしたちは、環境・安全・安心をテーマに、お客様と協働し、生活者の「幸せ」に寄与することを基本使命とします。

## 第2項 お客様の幸せ

わたしたちは、独自の技術とシステムにより、フードビジネスに新しい価値を創造し、お客様の「幸せ」に貢献することを基本使命とします。

## 第3項 社員の幸せ

わたしたちは、自己責任能力を高め、自身と社業の成長を通じて、物心両面の「幸せ」を追求することを基本使命とします。

## 第4項 株主・お取引先の幸せ

わたしたちは、将来への目標を共有し、常に業績向上に努め株主やお取引先に「幸せ」を提供することを基本使命とします。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第64期(平成27年3月期)中間の事業活動の概況を、ご報告申し上げます。

株主の皆様には、引き続きご支援、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長 **福島 裕**

## 第64期上半期を振り返って

上半期は、前年からの政府による経済・金融政策等の効果により、緩やかに景気回復の基調が続いておりましたが、消費税の増税による駆け込み需要の反動減から、4、5月の販売は苦戦いたしました。しかしながら、6、7月からは売上が盛り返し、立ち直りを見せたことから上期は前年同期比に比べ増収増益を果たすことが出来ました。

ショーケース事業では、省エネ設備への入替えに対する政府の補助金が継続される中、省エネ大賞を受賞したエネルギー管理システムを利用した入替え申請件数が増加するなど、ユーザーの省エネ意識は引き続き強く、省エネ対応ショーケースの販売が堅調に推移いたしました。

また、冷凍冷蔵庫事業では、病院の統廃合や老健施設の増加で医療市場向けにメディカル機器の売上が伸びた他、給食センター向けにプラストチャーや大型

冷蔵庫、食品加工工場向けにトンネルフリーザーの売上がそれぞれ伸びました。

さらに、グループ会社を含めたエンジニアリング事業の強化により、農業・漁業・牧畜など地方の活性化を推進する6次産業向けの仕事が増加し、エンジニアリング事業の売上が増加いたしました。

## 更なる安全安心技術でお客様と社会に貢献

当企業グループを取り巻く環境は、増税による消費低迷や建築コストの高騰、円安による原材料の高騰や電気代の値上げなど先行きの不透明な状況ではあるものの、それに向き合うお客様に少しでもお役立ちできるよう、省エネ技術や環境負荷低減でお応えしてまいりたいと考えております。また、電力の需給逼迫時に使用電力をコントロールする電力会社とのアグリゲーター契約など日本のエネルギー政策の一端を担う重要な役割を果たしながら、お客様・社会・当社の三方善しを

実現するエネルギー管理事業を推進していきたいと考えております。

エンジニアリング事業においては、グループ会社である高橋工業株式会社、FSP株式会社、株式会社省研とのシナジー効果を最大限に発揮し、6次産業へのアプローチを深めてまいります。

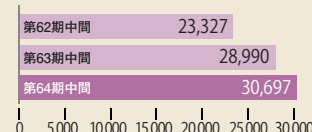
製造面については、滋賀工場での設備増強によりショーケースの増産体制を整えるとともに、彦根工場との集中購買などグループシナジーを最大限に発揮し、生産性を高めてまいります。また、海外では、平成27年6月の稼働を目標にタイに冷蔵庫工場を新設し、ASEAN諸国への販売を強化すべく準備をすすめてまいります。

今後も、当企業グループの、独自の食品安全技術とトータルソリューション力を持って、安全・安心・おいしい・健康な食生活を生活者様にご提供していく所存でございますので、株主様には今後ともなお一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

第64期中間連結決算(単位:百万円)

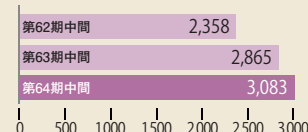
売上高

30,697 前年同期比 5.9%増



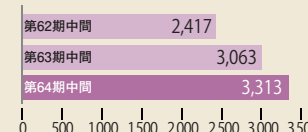
営業利益

3,083 前年同期比 7.6%増



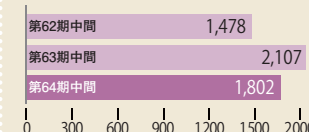
経常利益

3,313 前年同期比 8.2%増



四半期純利益

1,802 前年同期比 14.5%減



# 特集 1

## 確かな温度コントロール技術で、 多彩な研究開発・検査分析を支援。

# FMS事業

会社創立以来培ってきた信頼性の高い温度コントロール技術をフードビジネス以外で横展開し、新たな分野をターゲットとするのがFMS事業です。F(フクシマ)M(メディカル)S(サイエンス)事業部と称し、1999年、低温インキュベーター、薬用冷蔵ショーケースを開発し、バイオ・理化学・医療分野に進出しました。以来、薬用保冷庫・血液用冷蔵庫・メディカルフリーザーなどを相次いでリリースし、多彩な研究開発、検査・分析業務や医療現場を支援しています。



### 導入事例

## 大切な血液の管理に、血液用冷蔵庫が貢献!

医療法人中山会 宇都宮記念病院様 栃木県宇都宮市

県内屈指の急性期医療機関として成長し続ける宇都宮記念病院では、病院の新設に伴いフクシマの薬品・血液保管用の冷蔵庫を追加で導入。現在、血液用冷蔵庫3台、薬用冷蔵ショーケース1台、メディカルフリーザー1台の合計5台を使用されています。購入の決め手となったのは、製品に見合った価格とサイズであるということ。また、温度管理が重要となる血液の品質管理において、フクシマの血液用冷蔵庫は、10秒間ドアが解放状態になるとブザーが鳴る設定にできるため、危険の回避にも役立っているそうです。現場のきめ細やかなニーズに対応していると評価をいただきました。



血清を冷凍保管している  
メディカルフリーザー  
FMF-500F



薬品を保管している  
薬用冷蔵ショーケース  
FMS-501G

## 事業部長インタビュー

病院、調剤薬局、血液センター、食品関連企業、大学…  
市場のニーズを把握し、さらなる販路の拡大を目指します。



FMS事業部 部長  
小島 佳則

『広く、深く』製品をアピールし、  
新たな販路につなげたい。

FMS事業は、今年で16年目になります。前年にFMSプロジェクトとして発足し、営業部門や開発部門が集い、その翌年には私も専任営業として参加いたしました。今では主要都市部に営業を置けるようになりました。先発メーカーより、さらに細かい制御・精度を追究し、常に先を読んだ商品づくりを進めた結果、売上は毎年前年を上回っています。今後の成長戦略としては『広く、深く』が目標です。“広く”とは、販路のことで、特に病院の市場を拡大させたいと考えています。また、“深く”とは、iPSといったバイオテクノロジーに関連

した製品を深掘りすることです。次の戦略としてはいくつかあります。例えば、ハイエンド機種という付加価値の高い商品を開発すること。例えば、各地域、海外までも含めて販路を広げるエリア戦略を進めること。このような戦略を進め、事業規模の拡大を目指します。

薬用保冷庫のイメージを変える、  
カラーバリエーション。

近頃、病院からの受注が増えており、現場を見るのが多くなりました。そこで気がついたのは、イスや壁、ストレッチャーなどが薄いピンク色や紫色、水色であるということです。患者さんが落ち着くような色合いですし、ナースステーションにしても、大学の研究室にしても女性が非常に多いんですね。今年の8月頃まで、弊社の製品はアイボリー一色だけでしたので、これではいけないと思い、すぐに工場へ連絡し、9月頃から6色のカラーを自由に組み合わせられる薬用保冷庫の販売をはじめました。院内を明るくオシャレにできる女性好みの商品であることはもちろん、保管物によって色を変えることもできるので、取り間違えの予防にもつながります。このようにマーケットに合わせた製品を開発し、FMSターゲット市場に新しい価値を創造していきたいと考えます。



### Show tour

## 医療理化学機器 新製品展示発表会を 全国6ヶ所で開催

毎年、お客様のご要望を取り入れ開発した新製品をお披露する場としてこの展示会を開催しています。3年目の今年は仙台、東京、名古屋、大阪、広島、福岡の6拠点で約540名の方々にご来場いただきました。理化学・医療分野の他メーカー様にも協賛出展していただくことで、あらゆるニーズを創造し、今後更に活躍の幅を広げていけるよう取り組んでいます。

## FMS ビジョン

- ① 私たちは価値創造型企業を目指します
- ② 私たちは常にチャレンジ精神を持って行動します
- ③ 私たちは倫理観に基づいた正しい行動をします

## FMS スピリット

- ① お客様に信頼される仕事を重ねます
- ② お客様の目を見て話す回数を増やします
- ③ お客様の笑顔を最大の喜びとします
- ④ お客様と一緒に歩きシリアスな提案を重ねます

## 特集 2

製品の導入から内装の工事まで、  
トータルで請け負う。

# ストア事業



当社の中核を成す事業として、スーパーマーケットをはじめ、百貨店やコンビニエンスストア、ドラッグストアなどを中心に展開しているのがストア事業です。1964(昭和39年)に他メーカーに先駆けて冷凍冷蔵ショーケースの規格化・量産化を開始し約半世紀、オープン型・クローズ型、多段型・平型・アイランド型など様々なバリエーションを開発・リリースし、お客様の要望にお応えしてきました。近年では、省エネ化が進み、市場での省エネに対する関心も高まっております。当社も省エネ対応ショーケース「Send-you」シリーズをリリースし、安全・安心そして省エネ・エコロジーを実践する店舗づくりのお手伝いしています。

今回は、上期での導入事例として、4月に東京・御徒町にオープンした鮮魚の専門店『吉池本店』様を担当者の言葉とともにご紹介いたします。

### 吉池本店プロジェクト 施工担当者Voice

東京営業二部 主任 片山 領

**コストを抑えた、弊社の強みを生かした設計を提案。  
お客様に納得していただける施工ができました。**

吉池本店のプロジェクトは2013年にはじまりました。吉池本店は、大規模な案件でしたので、当然のことながら、私一人で全てを担当することはできません。完成までに多くの方々にご協力をいただきました。

本案件を全て弊社で受注することができた背景には、白紙の状態から設計に取り掛かれたことが大きく影響していると考えます。吉池様との面談回数を増やし、内装建築業者と早期に契約を結ぶなど、吉池様のご要望を多く取り入れることができました。また、弊社の

強みとなる部分を最大限に生かした設計を提案することで、コストパフォーマンスでも優位に立ち、競合他社につけ入る隙を与えませんでした。完成後、お客様から「福島工業は、良くやってくれた」というお言葉をいただいた時には、大きなやりがいを感じました。ひとつのスーパーマーケットを施工したという充実感はもちろんありますが、福島工業としてチームで力を合わせて取り組めたことが何よりの喜びです。



### 導入事例

鮮魚の専門店 吉池本店 様

**2014年4月26日オープンの  
吉池本店の施工をフクシマがトータルで担当。**



**冷凍冷蔵設備から内装工事まで受注し、  
ストア事業で過去最大級の物件が完成。**

吉池本店は9階建てのビルで、吉池が運営するのは、地下2階の酒類・日用雑貨、地下1階の総合食料品、1階の鮮魚、9階の食堂(放心亭・寿司処しゅん・池田屋)です。その他、衣料品や生活雑貨、レストランといったテナントが入り、御徒町のランドマークとして親しまれています。本案件でのフクシマの受注内容は、ショーケースや縦型冷凍冷蔵庫、製氷機といった製品はもちろん、内装工事、 Gondola 什器工事、木工什器、照明・床・水槽工事まで、トータルに請け負いました。規模、受注額ともに、ストア事業では過去最大級の物件です。

**施工をトータルで管理できたため、  
急な変更にも対応できました。**

納品させていただいた弊社の製品は、コスト面での上振れの懸念・限界があったため、既製品が中心となっていますが、吉池様の譲れない部分や強みを最大限に生かすため、特注品も製作。それが、お客様の満足にもつながったのだと考えます。ひとつの店舗を

トータルで計画するにあたって、特に難しかったのが内装建築や設備関係です。商品をより良く見せるための内装デザインや照明計画、それに伴うレイアウト変更など、お店づくりで最も重要となる部分に時間を費やしました。困難ではありましたが、施工は弊社がメインとなり進めていたため、工程の調整などはスムーズに行うことができました。冷凍冷蔵設備に関しては特に問題なく進められました。



**吉池様の強みを存分に生かした、  
活気ある売り場となりました。**

店内には、活魚が泳ぐ水槽やプロの魚さばきを間近で見られるコーナー、ズラリと並ぶ大漁旗などがあり、活気に満ちあふれています。最上階の9階では、素材の鮮度と技が光るお寿司、旬の魚介を生かした和食、丹誠込めてつくる洋食をご用意しております。東京スカイツリーを望むこともできますので、お近くにお越しのときは、ぜひ吉池本店へお立ち寄りいただければと思います。



# トピックス~NEWS~

## 新製品 コンパクトタイプ 冷水チラーを発売

ソース類やスープ類、煮物など、水分の多い調理済みパック食品の急速冷却が可能。昨今の食品の品質保持や安全性、効率の為に調理したての料理を急速冷凍する需要が増えてきたことに応えました。冷水でパック済み食品を素早く冷却できるのが強みで、菌が増殖しやすい温度帯を一気に通過させるため安全性も高くなっています。ホテルやレストラン、惣菜店、病院、福祉施設、社員食堂などに最適な製品です。



QCW-08CMD

## 新製品 コンパクトな冷凍庫 3段ドローワー冷凍庫

2段レールを採用し、引き出しの奥まで引き出せるので食品が取り出しやすく、食品ロスを防ぎます。機械室を背面へコンパクトに収納したので庫内の収納スペースが広がっています。コンパクトサイズなのでレストランやファーストフード、コンビニエンスストア、サービスエリアでの2台目の冷凍庫として最適です。



VMC-060FM

## 新製品 インバーター制御 大型冷凍リーチインショーケース MGCシリーズ発売

インバーター冷凍機を搭載した大型冷凍リーチインショーケースです。業界最大(※2014年1月現在 当社調べ)の庫内有効内容積1350Lを実現。冷凍機内蔵型なので冷媒配管工事も不要です。警報ブザー付なので温度異常の際にも安心。さらにフィルター清掃もお知らせしてくれます。オリジナルLED照明付で、スーパーマーケットやドラッグストアに最適です。



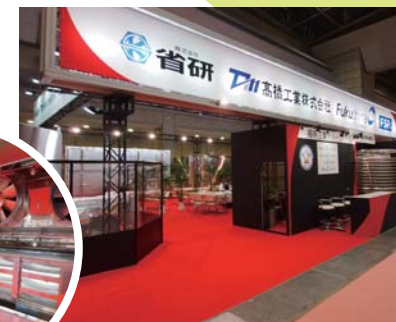
MGC-61FKE5R

展示会

## 食の未来を探しに行こう。 国際食品工業展 FOOMAJAPAN2014に 出展しました

2014年6月10日(火)~13日(金)  
東京ビッグサイト

東京ビッグサイトで「FOOMAJAPAN」が開催され、フクシマグループとして、福島工業・高橋工業・FSP・省研の4社合同で出店。今回は、実物のプレハブ庫や食品工場などでしか見る事ができないトンネルフリーザー®を展示し、実際に触れていただきました。学生の方や外国の方も多数来場され、多くの方に当グループを知っていただける良い展示会となりました。



展示会

## フードシステム ソリューション2014

2014年9月17日(水)~19日(金) 東京ビッグサイト

主に「病院・福祉給食」や「学校給食」に携わる全てのお客様に向けて、調理実演を行い、プラストチラー、冷水チラー、低温スチーマーなどの当社製品を使用した調理など、様々なご提案をさせていただきました。



展示会

## アジア最大の バイオテクノロジー展 BIO tech 2014に出展

2014年5月14日(水)~16日(金) 東京ビッグサイト

当社ブースでは薬用保冷库MediFridgeシリーズや小型薬用保冷库、低温インキュベーター高精度モデル、メディカルフリーザーなどを展示。研究者や大学教授の方々など新しいお客様にもお会いすることができ、様々なお話を伺うことができました。たくさんのご来場ありがとうございました。



## 関西サービスセンター開設

5月より大阪市西淀川区に関西サービスセンターを開設!より信頼されるメンテナンス・サービスをお客様に提供してまいります!

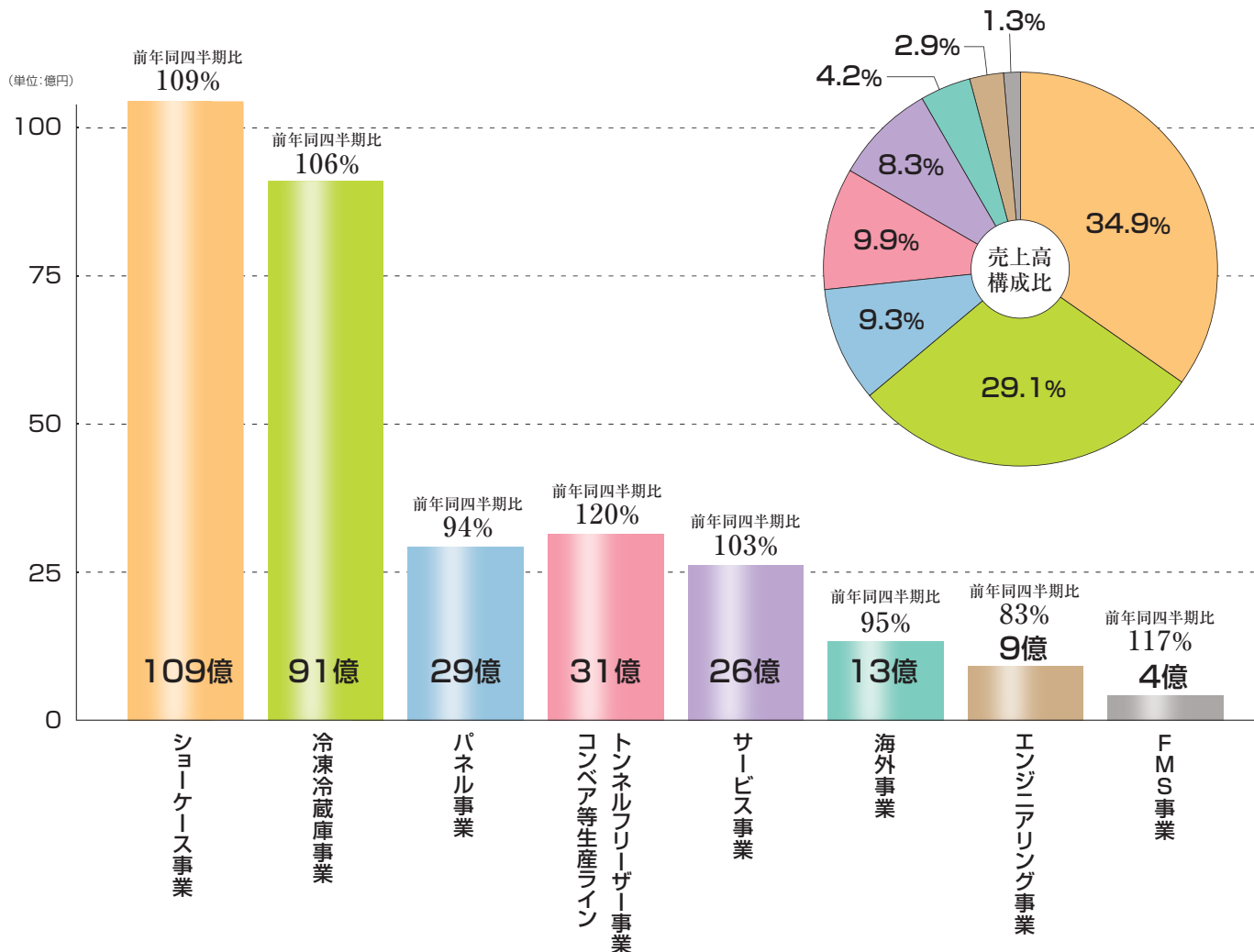


## エネマネ事業者に採択されました

『エネマネ事業者』とは、スーパーマーケットや食品工場などに導入された省エネルギーや、電力ピーク対策に寄与する設備・システムなどに対してBEMSを導入し、エネルギー管理支援サービスを行う事業者のことです。省エネルギー事業を支援する者として、補助金事業執行機関に登録されています。



# 事業別売上高



オープンショーケース



汎用業務用冷凍冷蔵庫



製氷機



トンネルフリーザー



メンテナンス・サービス

エネルギーマネージメントシステム (BELS-COOL)  
Beins-you

# 連結財務諸表



## 連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日現在)	当第2四半期 連結会計期間 (平成26年9月30日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	40,064,911	41,115,222
固定資産	14,104,844	15,762,699
有形固定資産	8,449,686	9,317,903
無形固定資産	129,211	153,425
投資その他の資産	5,525,946	6,291,369
<b>資産合計</b>	<b>54,169,755</b>	<b>56,877,921</b> <span style="color: orange;">Point.1</span>
<b>負債の部</b>		
流動負債	21,760,400	22,703,912
固定負債	2,798,066	2,731,022
<b>負債合計</b>	<b>24,558,467</b>	<b>25,434,935</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	27,930,960	29,424,913
資本金	2,760,192	2,760,192
資本剰余金	3,062,430	3,062,430
利益剰余金	22,379,500	23,873,579
自己株式	△271,162	△271,289
その他の包括利益累計額	1,375,920	1,736,168
その他有価証券評価差額金	1,343,193	1,789,466
為替換算調整勘定	85,521	16,568
退職給付に係る調整累計額	△52,795	△69,867
少数株主持分	304,407	281,904
<b>純資産合計</b>	<b>29,611,288</b>	<b>31,442,986</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>54,169,755</b>	<b>56,877,921</b>

### Point.1

受注増加の対応による商品及び製品等のたな卸資産が増加し、流動資産が10億5千万円の増加と、投資有価証券が増加したことによる固定資産の16億5千7百万円の増加により、資産合計27億7百万円の増加となりました。

### Point.2

冷凍冷蔵ショーケース販売において、省エネ設備の入替えに対する補助金を利用した、買い替え需要が伸びたことや、冷凍冷蔵庫販売において、病院や老健施設、給食センターなどの物件が増加したことなどにより、売上高は昨年同時期に比べ17億6百万円増加し、3百6億9千7百万円となりました。

## 連結損益計算書

(単位:千円)

	前第2四半期 連結累計期間 (平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで)	当第2四半期 連結累計期間 (平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで)
売上高	28,990,905	30,697,122 <span style="color: orange;">Point.2</span>
売上原価	21,592,954	22,721,978
売上総利益	7,397,950	7,975,143
販売費及び一般管理費	4,531,986	4,891,769
営業利益	2,865,964	3,083,374
営業外収益	232,166	275,007
営業外費用	34,983	44,471
経常利益	3,063,147	3,313,910
特別利益	418,732	—
特別損失	—	361,867
税金等調整前四半期純利益	3,481,880	2,952,043
法人税、住民税及び事業税	1,267,943	1,291,023
法人税等調整額	60,251	△128,416
法人税等合計	1,328,194	1,162,607
少数株主利益又は損失(△)	46,283	△12,616
四半期純利益	2,107,402	1,802,051 <span style="color: orange;">Point.3</span>

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期 連結累計期間 (平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで)	当第2四半期 連結累計期間 (平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	101,356	1,678,982
投資活動による キャッシュ・フロー	70,450	△227,624
財務活動による キャッシュ・フロー	△442,944	△637,429
現金及び 現金同等物に係る換算差額	135,087	49,341
現金及び 現金同等物の増減額	△136,049	863,270
現金及び 現金同等物の期首残高	13,640,481	16,867,445
現金及び 現金同等物の四半期末残高	13,504,432	17,730,716 <span style="color: orange;">Point.4</span>

記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

### Point.3

前年の特別利益4億1千8百万円の減少に加え、当社が加入する厚生年金基金の特例解散に伴う厚生年金基金解散損失引当金繰入額を計上したことによる特別損失が3億5千5百万円増加したことなどにより、四半期純利益は昨年同時期に比べ3億5百万円減少し、18億2百万円となりました。

### Point.4

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、税金等調整前四半期純利益を29億5千2百万円計上し、主に投資活動及び財務活動に資金を使用した結果、前連結会計年度末に比べ8億6千3百万円増加し、177億3千万円となりました。

## Information

### 会社概要

商号	福島工業株式会社
本社	〒555-0012 大阪府大阪市西淀川区御幣島3-16-11
設立	昭和26年12月8日
資本金	27億6千万円
従業員数	連結:1,412名 単体:1,038名(準社員除く) 2014年3月現在

### ネットワーク

支社	東日本(東京)、中部(名古屋)、関西(大阪)、西日本(福岡)
支店	札幌、東北(仙台)、信越(新潟)、関東(さいたま)、横浜、千葉、西東京(立川)、静岡(静岡)、北陸(金沢)、京都、阪和(難波)、神戸、岡山、広島、四国(高松)、西南九州(長崎)、沖縄
営業所	旭川、函館、青森、盛岡、秋田、郡山、山形、長野、松本、宇都宮、高崎、水戸、小田原、相模原、甲府、沼津、浜松、豊橋、三重、岐阜、高山、富山、福井、滋賀、北近畿、奈良、和歌山、南大阪、西宮、姫路、鳥取、松江、福山、山口、徳島、松山、高知、北九州、久留米、佐賀、大分、佐世保、熊本、宮崎、鹿児島、石垣
サービスセンター	関西(大阪)
工場	滋賀、岡山
グループ会社	国内:高橋工業株式会社、フクシマトレーディング株式会社、FSP株式会社、株式会社省研 海外:香港、台湾、シンガポール、韓国、上海、マレーシア、北京合弁工場、タイ、ベトナム

### 役員

代表取締役社長	福島 裕	監査役	竹内 博史
取締役副社長	福島 亮	監査役	吉田 広務
専務取締役	福島 豪	監査役	手川 明映
常務取締役	片山 充		
取締役	長尾 健二		
取締役	水谷 浩三		

### 株式のご案内

決算日	3月31日
定時株主総会	毎年6月下旬に開催
配当金受領 株主確定日	3月31日 なお、中間配当を実施する場合の確定日は9月30日
上場取引所	東京証券取引所 市場第一部
公告掲載方法	当社の公告はホームページ <a href="http://www.fukusima.co.jp/ir/advertise.html">http://www.fukusima.co.jp/ir/advertise.html</a> に掲載いたします。
株主名簿管理人および 特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
平成25年1月より郵便物送付先・電話照会先が下記へ変更となりました (郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	0120-782-031

### 「FINE!」について

Fresh Information & Next Efforts(新鮮な情報と、次なる取組み)の頭文字をとった略語。FINE本来が持つ「みごとな」「すばらしい」といった前向きな意味と、当社の企業理念である「幸せ創造企業」を実現するための取組みや、株主のために透明性と一貫性のある情報発信を行っていく当社の企業姿勢を表しています。